

# 船越までの道路の安全、 納得しがたい

## 送迎バス運行マニュアル作成



木村 洋子 議員  
(日本共産党)

**問** 大浦保育園の廃止の検討は入所児童数などから無理からぬ判断かもしれないが、廃止後の受け入れ先となる船越保育園への道路の安全性に改善が必要と考える。船越から大浦地区までの道路は3・11の大津波で所々が



東日本大震災で浸水した町道長林大浦線

**佐藤町長** 大浦から船越保育園までの送迎バスの安全確保については、住民説明会でも保護者から要望されている。送迎時に津波警報・注意報が発令された場合の対策として、送迎バス運行マニュアルを作成し、子どもたちの安全確保を図る。

破壊され、浸水被害が発生した。迂回(うかい)路ができたところもあるが、改良されていない所もある。  
就学前の児童を乗せた送迎バスが津波に対して安全面で不安が残る道路を通るのは納得しがたいが。

### 県立山田病院 救急医療体制改善すべき

#### 今後の課題である

**問** 県立山田病院が9月1日に開院を迎えた。入院施設が町内にできたことは町民にとって安心感があり、医療の向上に大きな役割を果たすと期待される。

への協力等について、県医療局、山田病院と連携

し町民が安心して医療が受けられるよう努める。

#### 医療費一部負担金免除 来年も継続すべき

#### 厳しい財政状況、慎重に判断

**問** 被災者の医療費一部負担金免除は28年12月31日で期限が切れる。本町は仮設住宅暮らしの被災者もまだいるため、被災者の「命綱」とも言われるこの制度を来年も継続すべきではないか。

ある。このことから、29年以降の継続は慎重にならざるを得ない。

**町長** 土日、祝日の日中に救急対応することは今後の課題ではあるが、医師不足が続く中、医師への過重な負担になることが心配される。医師確保

現在、県と全市町村で検討が行われている最中であり、国、県の支援が決定していないため、判断を明確にできない。

**町長** 本町の国保財政は一部負担金免除措置の影響などにより医療費が高水準で推移し、財政調整基金残高がわずかになるなど極めて厳しい状況に

#### その他の質問

◆発達障害やグレーゾーンの子どもたちの放課後児童クラブの設置に取り組むべき

一般質問